

# 飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第312号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2012年7月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・黒坂道生

## 「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

TOP\*NEWS

## 東海大学附属推薦制度

### 特別奨励入学・特別技能推薦・特別学力推薦・内部推薦内定による 397名の進路内定、おめでとう



「特別奨励入学制度」で内定した53名の栄えある笑顔(氏名の一覧は2ページに掲載)

今年度は「特別奨励入学制度」で53名、「特別技能推薦(各校推薦)」で3名、「特別学力推薦」で261名、「内部推薦」で80名の合計397名の3年生が東海大学への進学が内定しました。しかも397名中約85%もの生徒が、第一希望の学部・学科に内定しました。

附属推薦制度の早期化に伴い、今年度は適性審査のある看護・医学・芸術学科と航空操縦学専攻を除いて、6月上旬にすべての学科の内定が決定しました。3年生にとっては多くの生徒が夏期休暇前に進学先が内定して、入学前教育が充実したものになることと思います。

入学前教育は、7月7日、8日、14日、21日に実施される「内定者説明会」が皮切りになります。これは、保護者同伴で内定の決定した各キャンパスに行って、①学科説明②個別面談が行われ、一人ひとりに学科独自の個別指導課題が提示されます。生

徒は夏期休暇中にこの課題に取り組み、9月には課題を提出します。そして、後期には提出した課題に対する大学の先生による巡回指導や、12月以降の特別講座期間には、大学と高校が連携した授業が展開されます。

また、特別奨励入学制度で内定した生徒には、9月下旬から始まる大学の後期授業に科目等履修生として参加し大学の単位が取得できる「体験留学」という制度もあります。これを利用することで、高校在学中に内定した学部・学科の授業を体験することができ、自分の夢を実現する力が養えます。

1・2年生の皆さんもそれぞれ2年後、1年後には進路が決定します。日頃からの学力の向上に努めるとともに、志望する学部・学科を早くから見定めて1人でも多くが、第一希望の学科に内定できるようにしましょう。

# 中等部1学年だより

初めての定期試験が終了。そして、スポーツ大会、江戸東京博物館見学という2つの行事が行われました。普段と違う形でクラスとして活動を行い、生徒各々も感じる事が多かったようです。今回はこれらの行事を通して得た、生徒の思いを紹介します。

## スポーツ大会に参加して

鈴木 里奈

1年A組 足立区立新田小学校出身

「がんばれ!!」黄色い声を響かせて、私は汗を流していた。スポーツ大会の光景です。1年生はドッジボール、シュート合戦、綱引きに参加しました。

最初は「ふーん。やるんだー。がんばろー。」程度の意気込みでしたが、ふと気がつけば「絶対勝ちたい!優勝する!」とやる気になっていました。

特に綱引きではクラス一丸となって燃えました。女子の綱引きはA組の圧勝で、B組の女子が尻もちをついてしまうほどでした。男子の綱引きはギリギリの勝負で、男女合同も接戦でした。クラスが力を合わせて勝利を目指すことが、すごく気持ちよく、心から勝ちたいと思いました。

結果はドッジボールは女子の勝ち、男子は負け、シュート合戦は勝ち、綱引きは男女どもの全勝。最終的に140対20で優勝できて本当にうれしかったです。次の秋のスポーツ大会を楽しみにしています。

## 勝負・絆

河野 広海

1年B組 横浜市立新鶴見小学校出身

今回のスポーツ大会で感じたことは、A組に負けた悔しさと絆です。

B組が勝てたのはドッジボールだけで、他はすべて負けました。多分、今回負けてしまったのはB組よりもA組の絆の方が勝っていたからだと思います。でもB組も絆はすごく感じられ、その絆が強かったからこそドッジボールでは勝てたのではないかと思います。それでもA組に負けたのがとても悔しく感じました。僕はこの1か月だけでこんなに絆が深まったのはすごいことだと思います。

今回は負けてしまって、とても悔しい思いをしたので、体育祭など今後の行事では楽しく、元気に、全力で頑張っていきたいです。そして、勝負事は「悔しさをバネに」「失敗は成功のもと」とも言うので、次こそは絶対に勝ちたいと思います。また、友達との絆をこれからも大切にしていきたいと感じました。



1Aシュート合戦



1A祝優勝!



綱引きは全員全力で頑張りました!



チームメートを応援!

# 中等部2学年だより

## 日本科学未来館訪問

前期中間試験が終了した翌日5月26日(土)、私たちは日本科学未来館に行ってきました。最先端の科学技術を垣間見ることができただけでなく、「自然科学」をテーマにしたプレゼンテーション・スキルを身につけることができました。

今回は生徒諸君の日本科学未来館での活躍を報告します。

## 栄光の技術

河口 裕海

2年A組 横浜市立綱島小学校出身

私は日本科学未来館で、「人の情報はその人が空間にいれば瞬時に記録されていくものなのだ」と学びました。日本科学未来館には、人の動きを記録して、その記録を歌にして、それを歌ってくれるという機械がありました。それは「アナグラ」と呼ばれています。その「アナグラ」が私にとっても大切なことを教えてくれました。それは、人の動きによって情報は動き、自分の情報は自分の知らないうちに、誰かに見られている可能性があるということです。

私はこの事実を知ってビックリしたと同時に、自分の情報は自分で管理しなければならないと思いました。情報というものは警察が事件を捜査するときや、図書館で本を借りるときに必要なもので便利なのですが、怖い一面もあります。そのため、これからは自分の情報にもっと注意を払わなければならないと思いました。

## 日本科学未来館に行ってみて

堀井 信吾

2年B組 大田区立馬込第三小学校出身

僕は日本科学未来館に行って、いろいろな物を見学して、素晴らしい場所であるとわかりました——テレビなどでたまに見かけるASIMOや、人間の脳の輪切り等々。そのなかで一番興味を持ったのは、コンピュータの原理を説明する実験でした。

これは、白色と黒色のボールを8個組み合わせて文字を作り出し、相手に文字を伝える装置でした。コンピュータはそれを一瞬でやっていますが、この装置では1分以上かかります。このような仕組みが明らかになると、コンピュータは瞬時に何事も処理することの重宝さが身に染みてわかります。科学の進歩はとてはやく、素晴らしいことであるとつくづく感じました。

今まで何気なく使っていたパソコンですが、コンピュータの仕組みがわかったので、前とは違う気持ちでパソコンを使うことができます。この装置をぜひみんなにも体験してほしいです。



日本科学未来館入口にて



サーモグラフィ体験



筋力測定中



しんかい6500内で



プレゼンテーション準備中



ロボットといっしょに

# 中等部3学年だより

5月26日の土曜日に中等部3年生は劇団四季の「ライオンキング」を鑑賞しました。ステージの上で軽快に動き回る動物たち、それを演じ躍動する人間、臨場感たっぷりの音楽を体感してきました。人間が作り出す感動的な作品は、生徒の心にしっかりと刻み込まれたことでしょう。以下はその活動報告です。

## 生命のつながり

土本 芽実

3年A組 座間市立相模野小学校出身

私は今までミュージカルというのを見たことがなかった。しかし、今回のライオンキングを見て、ミュージカルを見る目が少し変わった気がする。

私は見る前、ミュージカルは舞台上に人が出てきて歌や踊りをするだけだと思っていた。しかし、ライオンキングは始まった途端に色々なものが動き出し、人が出てきたり去っていったりしていた。その光景に感動し、すっかり見入ってしまった。

またライオンキングは内容がとても深かった。“王の子供は王になる”という内容を使って、生命のつながりや親と子の愛を体で表現していた。私も見ていて何か伝わるものがあり、見終わった時には「命って大切にしないとけないなあ」と思った。

今回ライオンキングを見たことで、自分という存在に気付かされた気がする。今までの自分を振り返り未来の自分について考えるきっかけになって、とてもよかったと思う。

## 舞台のライオンキングを観て

滝沢 夏菜

3年B組 文京区立根津小学校出身

私は、ライオンキングを鑑賞して、一度ビデオで見たことがあるからどうなのかなと思ったのだが、実写はそのすごさが良かったです。個人的に好きだったのはアズーです。どんな場面でも繰り出すツッコミに、私は感動を覚えました。

子供だったシンバが、いきなり大人になってナラと話し合う場面、突然出てきたバレリーナに私は一瞬、「会場を間違えたんじゃないか…」と思いました。

ライオンキングはとても感動的で、自然界に住む動物たちの生き方を学べました。ビデオもいいですが、人が作り演じたものは、とても素晴らしく、もっと続きが見たいと思いました。日常生活の中で目に見える生き物を大切にしないとけないなと思いました。



ロングラン公演です



観賞後、大満足



控え目ですが、良かった



楽しかった

# 高校1学年だより

## 学年集会 ① 「学校とは？」

初めての中間試験が終わった直後の5月31日(木)。1時限目のホームルーム活動は、アリーナで「学校とは？」と題したシンポジウムを行いました。第1部は教頭補佐の北村先生による基調講演「私が考える理想の学校像」、第2部は教員によるパネルディスカッション、そして第3部は級長によるクラス研究発表「私たちにとって学校とは何か」。生徒たちはそれぞれ、「学校」に対する考えを深めたようです。

北村先生の話聞いて、「学校とは何をやる場所か」ということを考えさせられました。今回のシンポジウムで聞いた話を、これからの学校生活に生かしていきたいです。(6組・男子)

先生の学生時代の話聞いて、やはり高校時代というはかけがえのない大切なものだとわかりました。僕も高校生活を悔いなく過ごしていきたいです。(3組・男子)

今日、パネルディスカッションをやる聞いて、最初は何かよくわからなかったが、実際に聞いてみると面白かった。これからは機会があったらこのような企画をやってほしい。(1組・男子)

私は川島先生の「(学校は)ここにいるみんなのもの」という言葉が一番印象に残りました。(4組・女子)

学校とは何か、ということを改めて考えることによって目的を失わずにいられるし、学校生活が楽しくなるような気がする。私にとって、学校は青春そのものだ。(7組・女子)

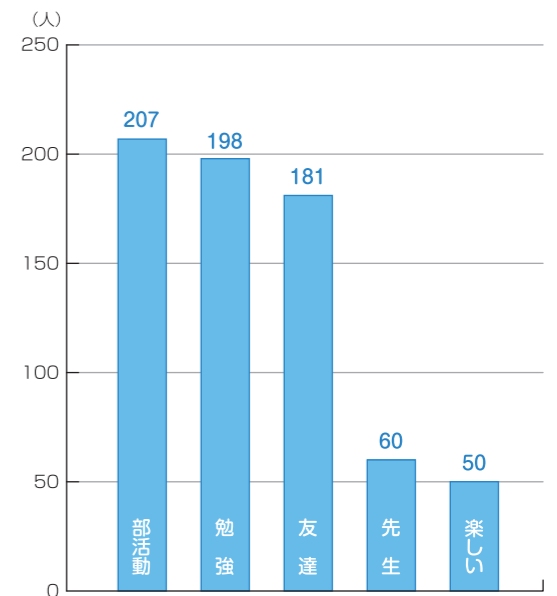
高校に入ってから、中学と違うことが多くあり、最初のころはすごく戸惑いました。「前だったらこうだったのに」「こんなことができたのに」と、中学のことを引きずって毎日びっくりするほど疲れていました。でも先生方の話を聞いて、比べるんじゃなくて今を充実させることが大切なんだと思いました。(2組・女子)

各クラスの級長さんが「私たちに学校とは何か」について話していましたが、それぞれ違った考えを持っていましたので、とても参考になりました。(5組・男子)

生徒たちが「学校」について真剣に取り組んで話し合ったことがよくわかり、感動しました。先生方の団結、仲の良さが見えて、それが生徒に伝わっている気がしました。私も先生方の集団の一構成員になりたいと感じました。(教育実習生・女子)

中村先生が言っていた「勉強しておけばよかった」という言葉は大人たちからよく聞くので、やはり勉強は大事なんだなと思いました。(9組・男子)

理想の学校像は人それぞれ異なると思います。私はそれでいいと思います。別に誰が正しいとかではないので、先生方が言ってくれたことを元に、これからも頑張りたいと思います。(8組・女子)



「学校」と聞いて何を連想しますか？という質問に対する回答のトップ5は右のような結果でした。さすが部活動と勉強の両立を掲げる高輪台だけあって、「部活動」と「勉強」が上位を占めました。3位は「友達」。やはり友達・仲間がいてこそ学校ですよね。6位以下は「行事」「授業」「生徒」……と続きます。「今の自分」という答えには、なかなか考えさせられるものがありました。

# 高校2学年だより

## 学年目標決まる

第2回級長会が5月7日に開催され、学年委員長、学年副委員長が決まりました。この会で、各クラスからのクラス目標をもとに学年目標が決定しました。今は前期中間試験も終わり、高校生活最大のイベント(?)でもある研修旅行に向け、みんなワクワクする日々を送っています。7月には、剛健旅行もあり体調面にも気を配りながら、夏休みまで元気に過ごしてもらいたと思います。

### 学年目標：心の根 一人ひとりの心構えと根っこのようにつながり

今年の私たち2年生の学年目標は「心の根」、一人ひとりの心構えと根っこのようにつながりです。この目標の意味は、一人ひとりの成長により根が生え、その根がからみ合い、そこから絆が生まれ一つとなり、強い心を一人ひとりが持つという意味です。

中堅学年として先輩や後輩に見られて恥ずかしくない行動をし、今後の学校を背負っていくことを念頭において頑張りたいです。また、これからは自分自身の進路についても決めていかなければならなくなっていくので、自分の好きなこと、やりたいことを2年生のみんなが見つけられるように、私たち学年委員会もサポートしていきたいです。

1年間頑張りますので、よろしくお願いします。



学年委員長 伊藤 将希  
6組 板橋区立高島第三中学校出身

### 学年委員会(級長会)メンバー

	級長	副級長	副級長
1組	川内 翼	クォーターデビット譲	粉山 一輝
2組	佐藤 洋叡	佐竹 美紅	須田あかり
3組	澤山 健人	佐藤 真帆	金子 真彦
4組	三ヶ尻京平	伊原 美玖	甲田 麻依
5組	酒井 里紗	湯浅 萌	西森 奏弥
6組	吉弘 雄太	深谷 碧	伊藤 将希
7組	佐波 安里	阿部 貴典	島崎 豊蔵
8組	夢沼 怜	近藤 咲姫	竹下 天仁
9組	鈴木 詩乃	松田 拓	渡邊 将成



学年副委員長 佐藤 真帆  
3組 台東区立上野中学校出身

### 『Any』 一汚れた自画像

7組担任 数馬 大介

私はMr.Childrenが好きだ。歌詞もメロディも、ボーカルの桜井さんの歌声も笑顔も好きだ。この間、そのミスチルがベストアルバムを出した。懐かしい曲もたくさん入っていて、「やっぱりミスチルは良いな」と改めて思った。ミスチルに『Any』という曲がある。今から10年前の曲だ。

「今 僕のいる場所が探してたのと違って 間違いじゃない きっと答えは一つじゃない  
何度も手を加えた 汚れた自画像にほら また12色の心で好きな背景を描き足していく」

私は高校生の頃、大きな後悔をしていた。私はどうしてこの高校を選んでしまったのだろうか？学校がつまらない。友達が多すぎない。勉強も難しい。部活動でも、自分よりうまい奴がたくさんいる。こんなところに来るんじゃなかった…。

後悔ばかりで3年が過ぎ、高校を卒業した。そして大学も卒業し、社会人になって、この『Any』を聴いた。「後悔して過ごしていた高校時代」に後悔した。今いるこの場所は間違いではない。きっと答えは一つじゃない。思い描いていたのと違って、またそこで新しい色を加えていけばいいじゃないか。

この曲にもっと早く出会ってれば、私の人生も変わったのだろうか？……いや、それを考えても仕方がない。大切なのは、今の自分を認め、今できることをしていくこと。今日もまた、「汚れた自画像」に手を加えていきたいと思います。

# 高校3学年だより

## 校外活動(バーベキュー)

5月12日土曜日、校外活動が行われ、3年生は富士山麓へバーベキューに行きました。普段は見ることのないお互いの一面を見ることができ、また1つ良い思い出を作ることができました。当日の感想を各クラスの代表者に聞いたので、こちらで紹介합니다。

### 1組 斎藤 夢楽

クラスメートと過ごせる残り少ない行事の中の一つだったため、とても楽しみにしていたバーベキュー。大自然を背景に焼きそば片手に時間を共有し教室では見られないクラスメートの意外な一面を見ることができ、クラスの仲もより一層深まりました。

### 2組 森脇 美律子

天気に恵まれ、自然の中で、クラス皆でやったバーベキューは、とても気持ちよく楽しかったです。マッシュマロや、さつまいもなど各班、さまざまな物を持ち寄って美味しく焼いていました。楽しい思い出を作れてよかったです。

### 3組 千葉 大成

高校生活最後の校外学習、クラスメートや稲葉先生と楽しく和気あいあいとおいしくバーベキューをすることができ、良い思い出作りができました。このバーベキューで、クラスの絆がより一層深まったと思います。

### 4組 小澤 将太

今回のバーベキューは、行きのバスから雰囲気良く、皆はしゃいでいました。着いてからも先生を交えて楽しく過ごすことができました。皆で自然を満喫して、写真もたくさん撮ることができ、クラスメートとの絆も深まり、思い出に残る一日となりました。

### 5組 田島 健太

近くには大きな湖もあり、空気がキレイな自然の中でクラスメートと楽しく準備をし、食べることができました。このような環境を整えていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。この楽しかった思い出と感謝の気持ちを忘れずに、残りの高校生活を過ごしていきたいです。

### 6組 藤原 健朗

最高学年の最初の行事は天候にも恵まれたバーベキューでした。班の皆で協力して美味しく楽しい思い出を残すことができました。残りの行事もクラスで団結して忘れることのできない思い出をたくさん作っていきましょう。

### 7組 細田 博史

私たちの班は、焼きそば15人前、おにぎり15個を持ってきてしまい、ほとんど焼きそばの消費で終わってしまいました。また、火を起こすことがこんなにも難しいとは知らず、班で協力して火がついた時はとてもうれしかったです。みんな協力し共感するという思い出ができました。

### 8組 小林 厚

大自然の中でクラスメートと協力したバーベキューはとても充実したものでした。煙が目にしみるなど、大変なこともありましたが皆と色々な話をしながら焼いた肉は美味しく、残り少ない高校生活の中で良い思い出になりました。

### 9組 中美 麻暉

9組はとても個性豊かなクラスですが、今回のバーベキューでは個性だけでなく、団結力を高めることができました。3年生ではすべての行事が最後になるので、クラス皆で良い思い出を作りたいです。

### 10組 足立 宏義

皆で楽しく協力しながら、バーベキューを楽しみました。自分たちで持ってきた食材も個性があり、面白かったです。建学祭やスポーツ大会でも、今回のバーベキューのように力を合わせていい成績を残したいです。



# お知らせ

## 第44回 剛健旅行 7月12日(木)~13日(金)

はげまし合って皆でゴールをめざそう!

剛健旅行は地元の警察・役所・消防署・病院などの協力によって実施できています。婦恋村の方々、応援してくださる後援会のお父さん、お母さんへの感謝の言葉と気持ちを忘れないでください。

雨具や着替え・防寒具の用意を忘れずに!!

## 2012 東海カルチャーセミナー

日時: 8月25日(土) 13:20~16:00(13:00受付開始) 場所: 本校アリーナ

第1部: 本校吹奏楽部によるコンサート 指揮: 畠田 貴生

第2部: 講演会 講師: 木村 英樹 先生.....

テーマ: 「太陽光発電と世界最速ソーラーカーの実力」

※受験生・一般の方も参加できます。詳しくは本校ホームページをご覧ください。



### 行事予定

## July 7月

- 1日(日) 中等部受験生・保護者学校見学説明会(1回目)
- 2日(月) 朝礼[正制服着用] 45分短縮授業
- 4日(水) 月曜日の授業
- 5日(木) 剛健旅行準備(1時限)
- 7日(土) 高校受験生・保護者学校見学説明会(1回目)、中等部水泳実習1回目(湘南キャンパス) 湘南キャンパス等学科内定者説明会(特別奨励・特別技能・特別学力)
- 8日(日) 高輪キャンパス学科内定者説明会(特別奨励・特別技能・特別学力) 英語検定二次試験
- 11日(水) 剛健旅行開会式(7時限)
- 12日(木)・13日(金) 第44回剛健旅行(群馬県吾妻郡婦恋村東海大学婦恋高原研修センター周辺)
- 16日(月) 海の日
- 17日(火) 剛健旅行閉会式(45分短縮授業)
- 18日(水) 金曜日の授業
- 20日(金) 午前中授業(4時限) 午後:夏期休暇前諸注意・大掃除
- 31日(火) 学園オリンピック文化部門[国語・数学・英語・造形・理科・知財・ディベート] ~8/5

## August 8月

- 6日(月) 学園オリンピックスポーツ部門(湘南キャンパス ~8日)
- 25日(土) 東海カルチャーセミナー
- 27日(月) 中等部2年英語体験研修(婦恋高原研修センター ~29日)、授業開始
- 28日(火) 校医相談日

## September 9月

- 1日(土) 後援会委員総会
- 3日(月) 避難訓練(1時限) 朝礼[正制服着用] 45分短縮授業
- 11日(火) 中学校巡回 母校訪問(高1) 生徒自宅学習日(中等部・高2・高3)
- 13日(木) 生徒による授業評価アンケート(2回目)
- 17日(月) 敬老の日
- 18日(火) 前期期末試験 (中等部 ~20日、高校 ~21日)
- 21日(金) 中等部写生大会(雨天時午前中授業)
- 22日(土) 秋分の日
- 24日(月) 授業日
- 25日(火) 第11回中等部・高校合同体育祭 (さいたま総合グラウンド) 雨天時授業日
- 26日(水) 専門医によるカウンセリング
- 27日(木) 生徒休業日
- 28日(金) 生徒休業日
- 29日(土) 保護者会(家庭通知表配布)
- 30日(日) 付属高校生のためのオープンキャンパス (高2 湘南キャンパス)

### 日食観測会



観測会



幻想的な金環食



リングになった!



パーフェクトゴールドリング

### 編集後記

5月21日、東京では173年ぶりの金環日食となった。本校でも希望者を対象に屋上で観測会をおこなった。当日は時おり雲間から太陽が顔をのぞかせるあいにくの空模様となったが、さいわい雲のフィルターを通して見事なパーフェクトゴールドリングを見ることができた。太陽と月と自分が直列するという神秘的な体験に生徒や教員から一斉に歓声があがった。次回東京で見られるのは300年後、いったい高輪台高校いや東京はどんなことになっているだろうか……。 (か)